

令和6年度第2回

「市民後見人養成講座フォローアップ研修」を開催しました

令和7年3月3日（月）、水戸市福祉ボランティア会館にて、市民後見人養成講座修了生のスキルアップを目的とした「市民後見人養成講座フォローアップ研修」を開催しました。当日は雪やみぞれの降る悪天候の中、修了生と連携市町村職員及び市町村社協職員合わせて25名の方々が参加されました。講師に水戸市生活福祉課係長 海老根拓弥氏から「生活保護業務について」、本会の自立相談支援室 柏裕子主任相談員より「困っている問題をどのように解決していくか？」と題してご講演いただきました。



生活保護制度の概要、またその実務内容についてお話をしてくださいました。生活保護は社会のセーフティーネットとして重要な役割がありますが、制度への誤解や偏見も強く、正しい知識や理解を深め、必要な人に支援が届き制度が適切に利用できるよう支援体制の強化や連携が求められていることを学びました。

自立相談支援室の柏主任相談員からは生活困窮者とは誰のことなのか、様々な支援のかたち、関係機関との連携についてなど、お話をしてくださいました。また、後半ではグループに分かれ事例について課題の抽出や考えられる支援、それぞれの地域の活用できる資源やサービスなど、意見交換や情報共有を行いました。



受講者からは、「生活保護制度について理解を深められた」「誰もが生活困窮の問題を抱える可能性があり身近な人間関係の大切さを改めて感じた」などの感想があり、改めて考え学ぶ機会となりました。